

戦 評 用 紙

平成 25 年度 関東高等学校女子バスケットボール大会

埼玉県予選会

平成 25 年 5 月 17 日

会 場 越谷市総合体育館

コート第 3 試合

対 戦	市立川越	高校	1 2	—	2 1	昌平	高校
			1 7	—	4		
			1 0	—	1 4		
			8	—	1 9		

第 1 P、両チームともにハーフコートマンツーマンで試合が始まる。昌平は # 4 がアシストと自らのシュートで得点、市立川越は # 4 がドライブシュートをバスケットカウントとキャプテンのゴールでゲームが動き出す。昌平は堅い守りから走るバスケットを展開、全員が得点に絡み 2 1 得点を挙げる。一方、市立川越は # 1 2 のインサイドプレー、# 4 の 3 P シュートで応戦するも 1 2 得点にとどまる。

第 2 P、市立川越は # 1 1 の 3 P と速攻、# 4 の 3 P と追い上げを見せ、2 2 対 2 3 と 1 点差まで詰め寄る。一方、昌平はアウトサイドからのシュートが入らず 5 分間ノーゴール。# 1 2 がやっとゴール下でシュートを決めたところで、市立川越は 3 - 2 ゾーンに変える。この間も着実に得点した市立川越が 2 9 対 2 5 と 4 点リードし、前半を折り返す。

第 3 P、昌平は開始直後に # 5 と # 4 が連続ゴールで同点に追いつくと、動きも良くなり # 7 # や 1 2 がジャンプシュートを決める。しかし、市立川越も # 1 2 がインサイドで活躍を見せ、3 9 対 3 9 で最終ピリオドへ。

第 4 P、昌平の # 6 が 2 連続ゴールを決めると、市立川越はすぐにタイムアウトを取り、再び 3 - 2 ゾーンを仕掛ける。しかし、今度は昌平もすぐに対応を見せ # 5 のジャンプシュート、# 1 2 のゴール下とオフェンスを成功させる。市立川越はタイムアウトでマンツーマンディフェンスに戻すが、昌平の # 4 や # 6 のドライブを許してしまう。残り 1 分 4 1 秒、4 7 対 5 2 と 5 点差とされたところで市立川越は最後のタイムアウト。市立川越は必死にボールを奪いに行くが、最後は 4 7 対 5 8 と昌平が勝利した。

(記録者： 高校)